

環境マネジメント

ロジスティードグループでは、以下の4つの方針に基づき、「環境に配慮した事業活動」を推進しています。また、地球温暖化対策については、共同物流やモーダルシフトなどのグリーンロジスティクスを強化し、協力会社とも一体となって取り組んでいます。

環境方針

1 事業所で発生する環境負荷の削減	2 環境負荷の小さい物流・サービスの提供	3 環境意識と環境管理のレベル向上	4 自然との共生と環境コミュニケーション促進
電気、燃料、包装材料などの消費抑制、廃棄物の再資源化など	CO ₂ 排出量削減、資源循環による顧客への貢献	グローバルな環境意識向上と関連法規、会社規則の遵守	生物多様性・生態系保全と顧客・地域との環境協調

環境管理体制

1992年8月に環境専任部署を本社に設置して以来、環境負荷低減を進め、現在は“環境に配慮した事業運営”に向け、ロジスティードグループで一体となった活動をグローバルに展開しています。

環境担当の執行役員を責任者とする本社経営戦略本部サステナビリティ推進部が、取締役会および執行役員会議の監督のもと、環境経営全般の実務の責任を負うとともに、グループ全体を統括しています。

環境マネジメントの強化

当社グループでは、管理システムを活用して実績データの把握および監視活動を行っています。また、海外においては重要な環境法令の調査を行い、環境負荷管理、遵法確保などに努めています。

● 環境会議の開催

国内外で環境情報を共有し、環境意識と管理レベルの向上に努めています。

環境会議開催数 (2024年度)	国内:環境推進会議 2回 海外:環境責任者会議 2回
---------------------	-------------------------------

● 社内環境監査の実施

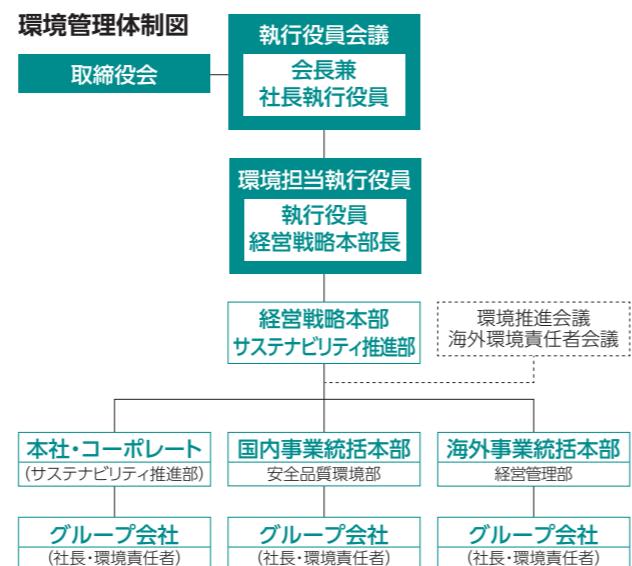
環境コンプライアンス違反の未然防止や早期是正、管理レベルの向上を目的として、社内監査を実施しています。

社内環境監査実施拠点数 (国内:2024年度)	56拠点
----------------------------	------

環境意識の向上

地球温暖化防止や資源循環、生態系保全などについての環境eラーニングを国内従業員に向け実施しています。2024年度は、世界的な潮流を踏まえ「サーキュラーエコノミー」をテーマに、対象を海外現地法人にも拡大し、教育を実施しました。

また、脱炭素に特化した基礎知識や自社の取り組み事例を、国内外従業員向けのニュースレターとして配信しています。2024年度は、CO₂排出量削減目標やEV、LED照明機器などについての記事を公開しました。



● 海外との連携強化

2024年度は、国内グループ会社と同様に、海外現地法人も各国の事情に応じた環境行動計画を設定するとともに、CO₂排出量を中心とした環境負荷データのモニタリングも推進しました。

● 第三者認証への取り組み

第三者認証の取得を進めており、現在、サステナビリティ推進部では「エコステージ」の認証を取得しています。2017年度より、ISO14001と同水準である「エコステージ2」へと認証レベルを向上させ維持しています。

そのほか、国内における管理システムの入力精度向上を目的とし、マニュアルの更新とオンライン教育を実施しました。

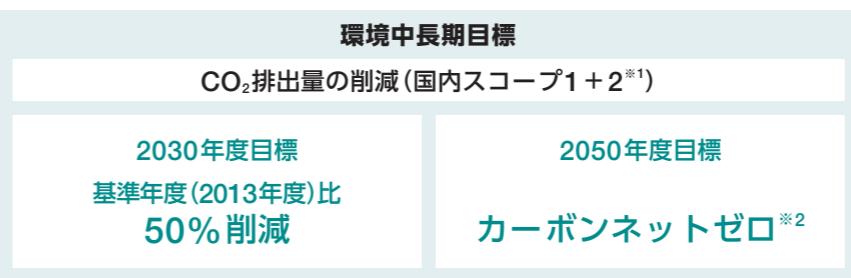
環境eラーニング受講率 (国内:2024年度)	89%
----------------------------	-----

管理システムオンライン教育 (国内:2024年度)	延べ参加人数 409名
------------------------------	-------------

ニュースレター配信記事数 (2024年度)	18本
--------------------------	-----

環境中長期目標2030／2050

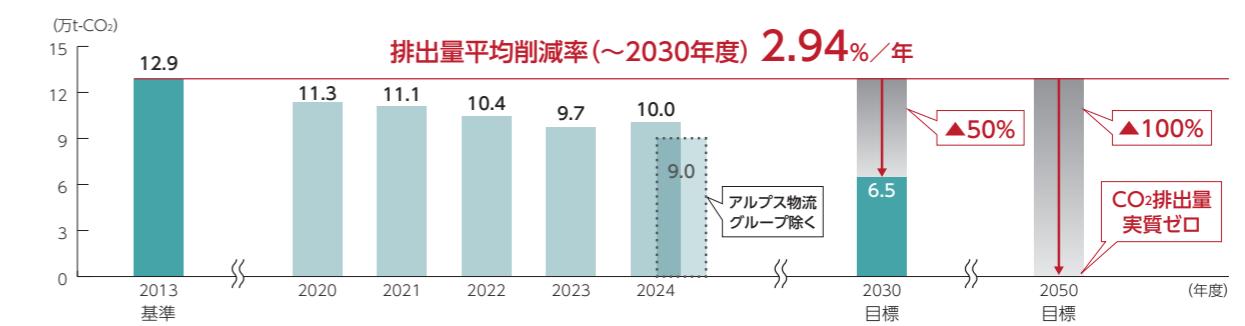
ロジスティードグループは、持続可能な社会の実現に貢献するため、2020年度に環境中長期目標2030／2050を策定し、CO₂排出量削減に取り組んでいます。世界的に脱炭素社会の実現に向けた動きが一層加速する中、当社グループは2020年度に策定した環境中長期目標2030／2050を、2021年度より意欲的な目標に見直しました。



*1 スコープの定義
スコープ1:自社施設、車両などからエネルギー(燃料などの)の使用に伴い、直接排出したCO₂(例:自社の車両から排出されるCO₂)
スコープ2:自社施設でのエネルギーの使用に伴い、排出したCO₂のうち、排出場所が他者施設のCO₂(例:電気の使用により発電所から排出されたCO₂)
スコープ3:スコープ1・2以外のサプライチェーンによる間接排出(例:外注委託輸送や従業員の出張など、全15カテゴリー)
*2 カーボンネットゼロ:温室効果ガスの一つである二酸化炭素(CO₂)の排出量から、吸収量・除去量を差し引いた合計をゼロにすること

対象範囲:ロジスティード、国内グループ会社

ロジスティードグループのCO₂排出量^{*3}の推移



● SBT認定取得に向けコミットメントレターを提出

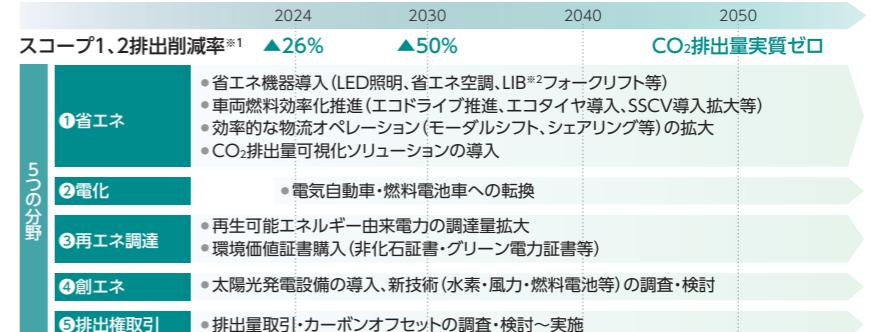
パリ協定が求める水準に整合する温室効果ガスの排出削減目標「SBT(Science Based Targets)」の認定取得をめ

ざし、2025年3月にSBTイニシアティブ(SBTi)へコミットメントレターを提出しました。

● CO₂排出量削減に向けた取り組み

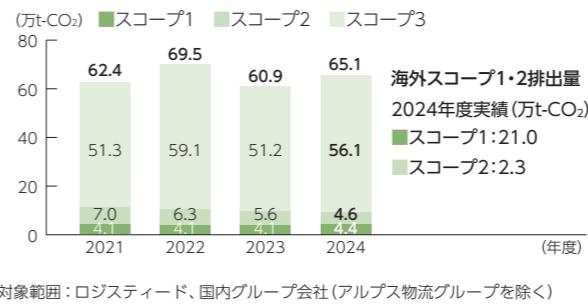
当社グループでは、環境中長期目標の達成に向けて脱炭素推進プロジェクトを立ち上げ、5つの分野の取り組みを積極的に進めています。

*1 2013年度比
*2 LIB(Lithium-ion battery):
リチウムイオン電池



● サプライチェーン全体でのCO₂排出量

サプライチェーン全体のCO₂排出量を把握し今後の削減につなげるため、2017年度から「スコープ3」についても算出しています。



● CO₂排出量データの第三者保証取得

2024年度は、2023年度の温室効果ガス(GHG)排出量について、「スコープ3」まで範囲を拡大し、保証機関LRQAリミテッドの審査によるISO14064-3:2019を基準とした第三者保証を取得しました。今後も第三者保証を継続的に受けことで算出値の信頼性の確保に取り組んでいきます。

環境情報に関する詳細はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisted.com/jp/csr/environment/>

スコープ3のCO₂排出量の内訳はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisted.com/jp/csr/environment/activity/>